



安全を守る

共栄小学校 登校時見守り活動

子どもたちの安全のため ご近所もがんばります

子どもたちを犯罪や交通事故から守るため、小学校の通学路などで見守り活動（スクールガード）をしている町内会があります。

共栄小学校の見守り活動を行う厚別南二丁目町内会もその一つ。10年以上前から登校時間の通学路に立ち、笑顔であいさつを交わしながら、地域の子どもの安全のために日々活動しています。

自分にできることを考えて

仕事を辞めてから何かできることがないかと、自主的に始めたのが活動のきっかけです。今では30人くらいが活動に関わっています。「ご苦労さま」と声をかけてもらおうと、またがんばろうという気持ちになりますね。

厚別南二丁目町内会
防犯部長
佐藤 正さん



厚別東地区災害時 支えあいプロジェクト

避難時に助けを必要とする人が いるはずです

災害で避難するとき、高齢者、障がいのある方など手助けを必要とする人たちがいます。

災害発生直後など一刻を争うときは、住民同士の助けあいがとても重要です。

札幌市は災害時における地域の支えあい活動を進めており、厚別東町内会連合会では「厚別東地区災害時支えあいプロジェクト」を平成21年に立ち上げ、翌年から「災害時要援護者避難支援事業」に本格的に取り組んでいます。

このプロジェクトでは、災害時に支援が必要な人（要援護者）と支援者を組み合わせた台帳や地図の整備、地元の高校や病院と災害発生時の支援協定を結ぶなど積極的な活動を行い、もしものときに備えています。



厚別東地区
災害時支えあいプロジェクト
代表 上條 隆さん

「支えあい」は続きます

取り組みの8ステップは完了しましたが、支えあい活動はこれからも続きます。

今後もいろいろな状況を想定し、いざという時の「支えあい」を実践できるように、取り組んでいきます。

新札幌パウロ病院と
災害時の支援協定を
結びました↓



消火栓周りの除雪をしました



防災力を高める

新連載が スタートします！

災害時に地域で助けあう体制づくりについて、来月号から連載します。

厚別東地区が取り組んだ8ステップを例に、災害時の支えあい活動への取り組み方法をお知らせしていきます。

地域を変えるのは 「変えたい」という気持ち

今回紹介した3つの取り組み。どれも「地域をもっと良くしたい」という思いが、活動のスタートになっています。

「もっとこうなればいいな」というちょっとした思いが、実は地域を変える大きな第一歩になるかもしれません。